

# AOMORI WOOD ARCHITECTURE CONTEST 2024

2024年度  
第17回

## あおもり産木材活用 建築コンテスト 作品集

【非住宅新築部門】

▲ 木づかい大賞 ▲

株式会社 建築工房零 青森設計室

一般社団法人 日々木の森

知事賞

【住宅新築部門】

▲ 木づかい賞 ▲

1952HINOKIYA一級建築士事務所・有限会社赤穂工務店

しろがね  
白銀の家

【住宅リフォーム部門】

▲ 審査員特別賞 ▲

有限会社 林工務店

断熱リノベーション～県産材を使った終の棲家～

【非住宅新築部門】

▲ 審査員特別賞 ▲

株式会社 木組工務店

シェアオフィス BLUE

【非住宅木質化部門】

▲ 木づかい賞 ▲

株式会社 堀江組

金毘羅山高徳院本堂・位牌堂・客殿・庫裡改築工事

【非住宅木質化部門】

▲ 木づかい賞 ▲

須藤大建築設計事務所

風除ーsekkaー

あおもり産木材活用建築コンテスト実行委員会

■ 構成員: 青森県木材利用推進協議会 / (一社) 青森県建築士会 / (一社) 青森県建築士事務所協会 / 青森県木材協同組合 / 青森県森林組合連合会 / 青森県森林整備事業協同組合 / 青森県国有林材生産協同組合 / (公社) 青森県林業会議 / 青森県建設組合連合会 / (公社) 日本建築家協会青森地域会 / 青森県(建築住宅課・林政課) ■ オブザーバー: 東北森林管理局青森森林管理署、青森県優良住宅協会

# 第17回あおり産木材活用建築コンテスト

## 木づかい大賞は非住宅新築部門より

### 株式会社建築工房零 青森設計室が受賞。

文・写真=佐藤 史隆  
text/photo:Fumitaka Sato

令和6年12月19日、第17回あおり産木材活用建築コンテストの表彰式が青森県庁において開かれ、最高賞の木づかい大賞<知事賞>をはじめ、各部門の受賞者が表彰されました。

木づかい大賞<知事賞>は、非住宅新築部門応募作品から、青森市の株式会社建築工房零 青森設計室（作品名：一般社団法人日々木の森・十和田市）が選出。



宮下知事から青森ヒバ製の表彰状を受け取った木づかい大賞の株式会社建築工房零 青森設計室・福井素子さん(中央)と、施主の一般社団法人日々木の森・立崎文江さん(左)

住宅新築部門には、<木づかい賞>として八戸市の1952HINOKIYA 一級建築士事務所・有限会社赤穂工務店（白銀の家・八戸市）、住宅リフォーム部門には、<審査員特別賞>として、青森市の有限会社林工務店（断熱リノベーション〜県産材を使った終の棲家・青森市）、非住宅新築部門には、<審査員特別賞>として三沢市の株式会社木組工務店（シェアオフィスBLUE・三沢市）、非住宅木質化部門には、<木づかい賞>として弘前市の株式会社堀江組（金毘羅山高徳院本堂・位牌堂・客殿・庫裡改築工事・弘前市）と青森市の須藤大建築設計事務所（「風除一sekka」・青森市）が選ばれました。

今回の応募総数は14作品だった。（住宅新築部門4、住宅リフォーム部門2、非住宅新築部門3、非住宅木質化部門5）。

授賞式の冒頭、福士讓審査委員長が選考過程について報告を行い、「全部門において、提出書類やパネルを用いて5つの審査基準をもとに書類審査を行い、上位選定作品について現地審査を行った。その結果、木づかい大賞には非住宅新築部門から株式会社建築工房零 青森設計室の作品を選定。既存の母屋やカエデの木を活かした建物の配置や経年変化も考慮された県産材の使用を高く評価

した」と説明。木づかい大賞<知事賞>を受賞した株式会社建築工房零 青森設計室の福井素子取締役は、「このたびは、高い評価をいただき大変光栄です。これからも県産材を使いながら、お客さまの要望を叶えていきたいです」と感謝を述べました。

続いて各受賞者が、受賞作品への思いや喜びを語り、それを受けて宮下宗一郎知事は「県名に`森、がつくのは青森県だけです。今、森林を育み、次の世代につなぐことが極めて重要です。そして森の木が街で新しい建物になっていく。豊かな森に包まれているような青森県をつくっていききたい。皆さんの取り組みを宣伝し、知られていくことで、好事例となってもらいたいし、私も事例を発信していきます。これからも県産材活用にご協力をお願いします」と期待を込めました。

最後に実行委員会の齋藤渉会長が「本賞は、今年で17回目。コロナ禍直後の募集であること、資材価格が高騰していることなどから、はたして応募があるだろうかと危惧していましたが、この場を迎えることができました。ぜひ、皆さんには受賞作を自慢していただきたいです。自慢していただくことによって、青森県には、県産材を使った温かい空間に満ち満ちていると評判になればと。これからもご協力をお願いします。」と述べて、表彰式を締めくくりました。

また、表彰式終了後、受賞者らによる意見交換会が開かれました。この機会を通じて、関係者同士が交流を図ることで、県産材活用のさらなる発展につながればという趣旨のもと、初開催。受賞者による受賞作品の解説と、熱心な質疑応答が行われました。



受賞者記念撮影



【非住宅新築部門】

木づかい大賞

株式会社 建築工房零 青森設計室  
一般社団法人 日々木の森

ブルーベリー畑と古民家農園カフェがある敷地に、スイーツの工房棟と事務所棟、作業場棟を建築。既存の建物の近くに四季折々の景観を彩る大きなカエデの木があり、そのカエデの木と既存の建物との調和をコンパクトにまとめました。工房棟をカフェとカエデの木を囲むL字型の形状とし、奥に広がるブルーベリー畑や広がる空を眺められるよう建物を配置。また、カエデの木に面して設けた用途ごとの入り口を屋根が付いた一つの通路でまとめました。その通路からは、スイーツ作りの作業風景を見ることができます。外装は周辺環境に馴染む青森県産スギを、土台は耐久性に優れた青森ヒバを使用するなど、青森県産材もふんだんに使用。木の建築として統一感を持たせ、温もりある空間を創出しました。



## 講評

この作品は、古民家カフェの敷地内に新設された、工房棟と作業場棟です。工房棟は既存の建物とカエデを囲むようにL字型に配置され、周囲の農園の景色と調和するよう作業棟が配置されています。内装・外装に地元のスギがふんだんに使用され温かみが感じられます。

既存の建物と調和を図った建物の配置や経年変化も考慮された県産材の使用が高く評価され、大賞に選出されました。(審査委員会)



## DATA

建築場所：十和田市  
構造及び階数：木造1階  
延床面積：230.20㎡  
木材使用量：55.14㎡  
県産材使用量：54.04㎡  
県産材使用率：98.0%

## 【応募者】

株式会社 建築工房零 青森設計室  
青森市栄町2-4-2 1F Tel.017-718-1320

- 設計者／株式会社 建築工房零
- 施工者／株式会社 建築工房零
- 県産材調達先／有限会社 なかにし

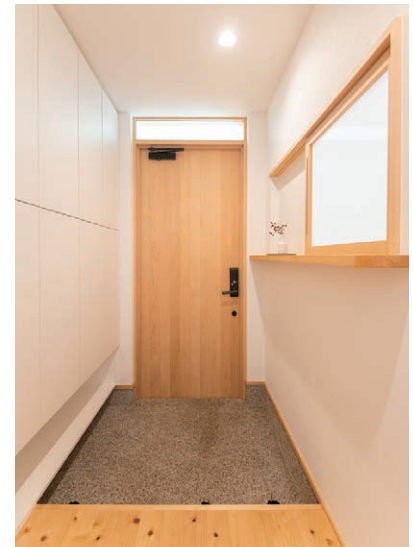
【住宅新築部門】

木づかい賞

1952HINOKIYA一級建築士事務所・有限会社 赤穂工務店

しろがね  
白銀の家

青森県産材の特性を活かし、適材適所に使用した住宅。耐久性と防虫性に優れ、外部環境にも強い青森ヒバは、外壁の一部や玄関ドア、土台に使用。地域気候や風土に適した素材で耐久性と美観を両立しています。高い防湿効果と耐久性を活かすため、居室床や造作材にもヒバを用いました。一方、軽量で加工しやすく、やわらかく温かみある青森スギは、階段や造作材に多用しました。この住宅はZEH水準断熱性能を達成しながらも、設計をシンプルにし、一般家庭でも手の届く価格に。また、床下エアコン1台での全館空調システムを採用し、住宅全体を快適な温度に保ちます。地域風土に根ざした建築でありながら、現代の省エネルギー技術や快適性を両立させた設計です。



## 講評

この作品は、シンプルな外壁にヒバの板張りが印象的な住宅となっています。県産材の床材と床下エアコンの全館空調の組み合わせという新しい工法への挑戦も見受けられました。

ヒバの玄関やドア、室内の家具などは職人により造作され、技術の継承に努めている点や、回遊性が良く、適材適所による木の使い方が工夫されている点が評価され木づかい賞に選出されました。(審査委員会)



## DATA

建築場所：八戸市  
構造及び階数：木造2階  
延床面積：129.93㎡  
木材使用量：20.41㎡  
県産材使用量：11.00㎡  
県産材使用率：53.9%

## 【応募者】

1952HINOKIYA一級建築士事務所  
八戸市柏崎三丁目8-13 Tel.0178-43-3848

## 有限会社 赤穂工務店

八戸市石手洗油久保6-10 Tel.0178-96-5510

- 設計者／1952HINOKIYA一級建築士事務所
- 施工者／有限会社 赤穂工務店
- 県産材調達先／上北森林組合 他



【住宅リフォーム部門】

▲ 審査員特別賞 ▲

有限会社 林工務店

## 断熱リノベーション～県産材を使った終の棲家～



昭和58年（1983）築の鉄骨系ユニット工法の住宅を、県産材を適材適所に使いながら断熱改修。建て替えではなく改修工事にしたことで、ユニット工法の強みである丈夫さを活かしながら、気密性と断熱性を重点的に改善。鉄筋コンクリート造りの建物にも採用される吹付ウレタンを壁と天井に施工し、床には板状の断熱材を隙間なく再施工するなどして温熱環境を上げ、廊下や浴室も含めた1階全体の温度のバリアフリー化を実現しました。この住宅を終の棲家としたい施主の「木に囲まれた空間で暮らす」という願いも叶えるべく、デザインにも工夫を凝らしました。外装の一部と室内天井の仕上げ材には青森県産材を使用。木の良さを存分に感じられる住まいに生まれ変わりました。



## 講評

この作品は、昭和58年築の鉄骨系ユニット工法の住宅を断熱改修したものです。外壁の一部、リビングのリブ天井に県産のスギが使用されています。

廃番等の心配の無い県産材を使用することでメンテナンス性を向上させている点、既存の大手メーカーの住宅ユニットを建替えずに、県産材を使い新たな居住空間にリフォームした点が高く評価され審査員特別賞に選出されました。（審査委員会）



## DATA

建築場所：青森市  
構造及び階数：木造2階  
リフォーム面積：45.98㎡  
木材使用量：11.12㎡  
県産材使用量：1.82㎡  
県産材使用率：16.4%

## 【応募者】

有限会社 林工務店

青森市石江3丁目16-2 Tel.017-788-1713

- 設計者／有限会社 林工務店
- 施工者／有限会社 林工務店
- 県産材調達先／丸重木材工業株式会社

【非住宅新築部門】

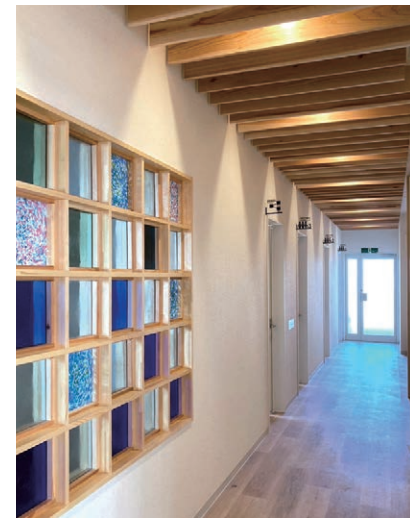
▲ 審査員特別賞 ▲

株式会社 木組工務店

## シェアオフィス BLUE



青森県産材と裂織、津軽びいどろ、ブナコなど青森の伝統工芸品を組み合わせた特徴的なシェアオフィス。さまざまな人と企業が集う場に、調和と発展の期待を込めています。共有スペースのカフェ空間は、大黒柱に青森ヒバを丸太のままで使用し、迫力と温かみを演出。この丸太材は、施主とともに大間まで足を運び選定したものです。優れた強度と防腐性を持つ青森ヒバを、構造部の柱、梁、外装にも使用。さらに耐久性、消臭性、意匠性を活かして内装の床やトイレの壁面にも使用するなど、適材適所に採用しました。また、人が行き交う廊下の天井部の吊下げパーテーションには青森県産スギを使い、木目と濃淡の美しさで空間を演出。アイデアを駆使して、機能美と快適さを追求しました。



## 講評

この作品は、複数の会社が入所できるシェアオフィスです。県産のヒバがふんだんに使用され、視覚や嗅覚が刺激されるとともに、津軽びいどろ、裂織など本県の工芸品も内装に積極的に使用され、彩り豊かな空間となっています。

建物正面での大胆なヒバの貼板、象徴的に使用されたヒバの柱の他、県産品の使用により郷土への愛着が感じられる点が評価され、審査員特別賞に選出されました。(審査委員会)



## DATA

建築場所：三沢市  
構造及び階数：木造2階  
延床面積：834.72㎡  
木材使用量：40.00㎡  
県産材使用量：28.00㎡  
県産材使用率：70.0%

## 【応募者】

株式会社 木組工務店

三沢市栄町三丁目140-832 Tel.0176-57-4547

- 設計者／アップルアーキテツツ株式会社
- 施工者／株式会社 木組工務店
- 県産材調達先／有限会社 島木材工業



【非住宅木質化部門】

木づかい賞

株式会社 堀江組

## 金毘羅山高徳院 本堂・位牌堂・客殿・庫裡改築工事



33の曹洞宗寺院が建ち並ぶ、弘前市「禅林街」にある「金毘羅山高徳院」の本堂、位牌堂、客殿、庫裡を改築。建築基準法という現代性と街の景観を損ねない伝統性を併せた木造建築が求められた状況で、主要構造部の柱と梁は鉄骨造、外内部の仕上げ化粧材を木材とし、現代性・伝統性の両方を備えた建築物としました。化粧材にはヒバ材を採用。見え隠れ部分の構造材はヒバのほかにアカマツを。そのほか、内部造作材の組み物は役物材を、そのほかの造作材はヒバ集成材を使用するなど、部位ごとに使用する材料を検討しました。不特定多数が参拝に来院する建物なので、スムーズな導線計画、風通しの良さ、自然素材の漆喰を内装に採用するなど居室内の快適性にも配慮しています。

## 講評

この作品は、歴史や景観を保持しながら寺院を建替えたものです。

鉄骨造を主構造としながらも外装部を仕上げ化粧材とすることで、木質化を図るとともに、伝統的木造建築の様式を見事に再現しており、建築基準を遵守しながらも伝統を引き継ぐ新しい方法として評価され、木づかい賞に選出されました。(審査委員会)



## DATA

建築場所：弘前市  
構造及び階数：鉄骨造1階  
延床面積：973.19㎡  
木材使用量：137.24㎡  
県産材使用量：31.57㎡  
県産材使用率：23.0%

## 【応募者】

株式会社 堀江組

弘前市大字西茂森2丁目18-5 Tel.0172-35-2711

■ 設計者／有限会社 中央設計

■ 施工者／株式会社 堀江組

受賞作品

AOMORI WOOD ARCHITECTURE CONTEST 2024

Award Architect\_06

【非住宅木質化部門】

木づかい賞

須藤大建築設計事務所

## 風除—sekka—



「廣田神社」の境内に寄り添うよう、日光や雨、雪を除ける授与所風除室を計画。神社は古来より木の文化に関係することから木造の風除室にこだわり、伝統工法である貫工法を採用し、木の存在感を演出しました。燃えしろや積雪、風圧、地震荷重を考慮した大断面の柱と貫には、八甲田山水系で伐採したスギ材を使用。廣田神社は八甲田山信仰があるので、八甲田山系の水で育ったスギ材を大切に使うように考えたことです。廣田神社は夜間祭事も多く、膜と骨組みで構成された風除室は夜間、透過された光が参拝者を迎え入れ、ねぶた祭りを連想させます。風除空間にとどまらず、参拝者の休憩場、授与所待合、庭を眺める借景など、さまざまな緩衝空間として利用される風除室となりました。

## 講評

この作品は、神社の社務所の前に木造の風除室を新設したものです。

貫工法で施工した木造の本体部分を鉄骨フレームを使った不燃性膜構造で覆っており、鳥居を模したスギ材が既存の社務所と相性が良くストーリー性がある点、防火規制が厳しい地域での木材利用の手法としても参考となる点が評価され、木づかい賞に選出されました。（審査委員会）



## DATA

建築場所：青森市  
構造及び階数：木造1階  
延床面積：16.53㎡  
木材使用量：3.16㎡  
県産材使用量：3.16㎡  
県産材使用率：100.0%

## 【応募者】

## 須藤大建築設計事務所

青森市大字羽白字沢田293番地E号

Tel.017-752-0815

- 設計者／須藤大建築設計事務所
- 施工者／株式会社 大室建築
- 県産材調達先／すみかの山



【住宅新築部門】 有限会社 林工務店

## 岩木山が眺める お日様と暮らすリビング階段の家

岩木山を望むロケーションを活かした家。「木の家に住みたい」という施主の思いを汲み、青森県産材をふんだんに使用しました。タテ張りの板が印象的な外観は、全面に青森スギを使用。青森スギは内部の造作にも多用し、職人が手作業でしつらえたリブ天井のほか、手すりや吹き抜けの床格子などにも採用。地場材に直接触れ合う機会を創出しました。土台には耐久性の高い青森ヒバを、吹き抜けには地元のアカマツを使うなど、県産材を適材適所に使っています。



### DATA

建築場所：平川市  
構造及び階数：木造2階  
延床面積：112.61㎡  
木材使用量：30.92㎡  
県産材使用量：17.66㎡  
県産材使用率：57.1%

### 【応募者】

有限会社 林工務店

青森市石江3丁目16-2 Tel.017-788-1713

- 設計者／若松設計
- 施工者／有限会社 林工務店
- 県産材調達先／丸重木材工業 株式会社

【住宅リフォーム部門】 株式会社 亜細亜建設

## ずっと快適に、 住み継ぐ平屋の家

祖父がこだわって建てた築44年2階建ての住宅を、現代の生活に合わせて平屋にリノベーション。改修前の雰囲気が感じられるよう、和室と廊下を柱が露出する真壁に。真壁の柱には青森ヒバを使用し、あえて残した既存の柱との色合いを合わせました。また、建具や床材は無垢材を使用し、より温かみある空間に仕上げています。屋根、外壁、基礎をSHS外張り断熱工法で断熱改修も。さらに耐震補強も行い、性能向上住宅となったことも特徴です。



### DATA

建築場所：青森市  
構造及び階数：木造1階  
リフォーム面積：208.68㎡  
木材使用量：9.93㎡  
県産材使用量：0.03㎡  
県産材使用率：0.3%

### 【応募者】

株式会社 亜細亜建設

青森市三内丸山238-1 Tel.017-766-6971

- 設計者／株式会社 亜細亜建設
- 施工者／株式会社 亜細亜建設
- 県産材調達先／株式会社 石郷岡

【非住宅新築部門】 工藤真人建築設計事務所・丸喜 株式会社 齋藤組

## 青森アリーナ カフェ&ベーカリー CAFÉ SHOP FIKA

木材を多用したデザインが特徴的な、カクヒロスーパーアリーナに併設された店舗。アリーナは、青森の厳しい気候に対応するため「ヨリドマ」や「コミセ」といった伝統的な木造構造で設計されています。そこで店舗にも木材を多用し、デザインも調和させることで、アリーナと一体の建築を実現しました。店舗内部にも木を多用し、アッパーライトで照らすことでより木を感じられる空間に。訪れる人々がリラックスできることを目指しました。



### DATA

建築場所：青森市  
構造及び階数：木造1階  
延床面積：150.19㎡  
木材使用量：26.31㎡  
県産材使用量：1.20㎡  
県産材使用率：4.6%

### 【応募者】

工藤真人建築設計事務所  
青森市花園2丁目5-6 Tel.017-752-8185

丸喜 株式会社 齋藤組  
青森市中央2丁目2-12 Tel.017-777-3329

- 設計者／工藤真人建築設計事務所
- 施工者／丸喜 株式会社 齋藤組
- 県産材調達先／株式会社テーオーフォレスト

【非住宅木質化部門】 有限会社 ヤマトホーム

## coffee shop 禅

築30年以上になる元呉服店をリノベーションしたカフェ。日本の木造建築の良さを活かしながら、建物全体の色調を統一するため外装に橙色やピンク色を帯びる温かな木目のスギを多用。店内のカウンターにもスギを使用し、大テーブルには曲がり目が目を引くケヤキを使用しました。また、水に強いヒバ材を水まわりのカウンターに使用。長年付き合いのある大手材木店や地元製材所から、良質な材を低コストで調達し適材適所で使い分けました。



### DATA

建築場所：弘前市  
構造及び階数：木造2階  
リフォーム面積：152.78㎡  
木材使用量：2.7㎡  
県産材使用量：0.4㎡  
県産材使用率：14.8%

### 【応募者】

有限会社 ヤマトホーム  
弘前市大字独狐字石田90-3 Tel.0172-99-1015

- 設計者／有限会社 ヤマトホーム
- 施工者／有限会社 ヤマトホーム



【非住宅木質化部門】 株式会社 シーアールティー・ワールド

## 農園ナチュロープ

カフェ、直売所、加工所を併設する、有機JAS認証農園「ナチュロープ」の6次化施設。生産者やユーザーの交流を深める拠点とすること、また農作物の育つ背景まで親しめる環境を提供したいとの施主の想いから、建物の空間や外観も大切に考え、青森県産のスギ、ヒバを活用して環境再生型（リジエネラティブ）の実現に努めました。スギの外装で木材の存在感をダイレクトに表現。玄関や床などの内装は、ヒバを使用し香りの癒し効果を与えます。



### DATA

建築場所：十和田市  
 構造及び階数：木造2階  
 延床面積：198.46㎡  
 木材使用量：23.00㎡  
 県産材使用量：22.00㎡  
 県産材使用率：95.7%

### 【応募者】

株式会社 シーアールティー・ワールド  
 埼玉県新座市野火止2-9-11 Tel.048-480-5321

- 設計者／株式会社佐々木設計
- 施工者／株式会社クドウ住建
- 県産材調達先／株式会社クドウ住建 製材部

【非住宅木質化部門】 株式会社 木組工務店

## 星野リゾート 青森屋ねぶたサウナ

青森文化を体感する宿「青森屋」の旧サウナ室をリプレイスした「ねぶたサウナ」は、室内の床、天井、壁面に青森ヒバを使用した、青森ヒバの香りに包まれる空間です。青森ヒバが持つ強度と防腐蚀性、消臭性、防カビなどの機能を活かし、地産地消にも努めました。動きのあるR天井は、木材だからこそ可能な造形天井。日本三大美林である青森ヒバの素晴らしさと青森文化を体感できる、県外や海外から訪れる人たちにも誇れるサウナが完成しました。



### DATA

建築場所：三沢市  
 構造及び階数：鉄骨1階  
 延床面積：44.42㎡  
 木材使用量：2.10㎡  
 県産材使用量：1.90㎡  
 県産材使用率：90.5%

### 【応募者】

株式会社 木組工務店  
 三沢市栄町三丁目140-832 Tel.0176-57-4547

- 設計者／岩田尚樹建築研究所
- 施工者／株式会社木組工務店
- 県産材調達先／有限会社 島木材工業